

札幌

協働

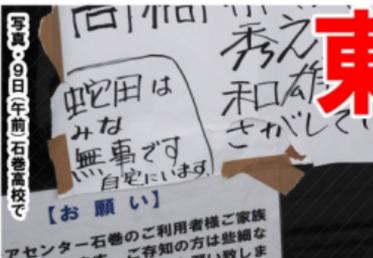
福祉会

2011年 4月

第66号
(禁無断転載)

フラッシュ

発行所 札幌市北区藻路町福移 147番地36 社会福祉法人 札幌協働福祉会



東日本大震災

2011年3月11日(金)14時46分ごろ、三陸沖を震源にM9.0の地震が発生。

■2011年4月7日(木)午後、札幌協働福祉会は宮城県石巻市を拠点に活動する「石巻ホップ支援センター」さんへ支援物資をお届けしました。

到着時は発生から1ヵ月を過ぎようとしていた石巻市内ですが、あちこちに災害の爪痕が生々しく残り、今回の震災の大きさを物語っていました。

7日到着後の石巻市内、そして9日(土)の被災地の様子をお伝えします。



写真・9日午前、日和山(ひよりやま)公園から見る津波被害を受けた石巻市内の地区



写真・9日(土)午前、日和山(ひよりやま)公園から見る津波被害を受けた石巻市内の地区



写真・9日午前、打ち上げられた漁船
石巻市で



写真・9日午前、被災地を訪ねる市民



写真・9日午前、津波で運ばれた車両もそのままの石巻市大街道西地区



写真・9日(午前)、石巻市の旧北上川沿いで陸に打ち上げられた漁船



写真・9日午前石巻市の旧北上川の中瀬



写真・9日午前、日和山公園から被災地を見る人たち



写真・9日午前、被災地にむけ花が手向けられると日和山公園で

■4月9日(土)午前、桜とつつじの名所でもある石巻市内にある日和山(ひよりやま)公園には、震災後、被災地の様子を見る人たちが三々五々訪れる場所となりました。目の前には11日の津波被害を受けた地区が無残な姿で広がり、一部でガレキをかたずける重機の音が聞こえていました。旧北上川沿い、中瀬(なかぜ)等で打ち上げられた漁船がそのままに残り、津波の巨大なエネルギーを物語っていました。(報告・田村 隆)

2011年4月7日(木)

■6日(水)午後に札幌協働福祉会を出発した車両は7日(木)昼過ぎ、石巻市内にある「ホップ支援センター」到着。積み込んできた物資をお届けしました。(写真右)



■活動の拠点として使用される住宅。この地区も災害発生時は床上まで浸水被害を受けています。届けられた物資に囲まれるようにメンバーらは遅い昼食を頂いているときでした。(写真左)



2011年4月9日(土)

■宮城県石巻市内の避難所で夕食の支援する2名男性スタッフです。5日(火)に札幌を出発したチームのメンバーで、今日で4日目、そろそろ疲れも出てくる頃ですが、そんな様子も見せずに元気に支援活動をされています。12日に次の支援チームが来ると交代になります。ご苦労様です。

